

ウツディ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



国産材の利用促進における10年の変化

一般社団法人 北海道林産技術普及協会

ウッドエイジ

木材の研究と普及
第61巻・通巻706号

目次

国産材の利用促進における10年の変化	1A
輸入機械を日本に導入すること	4A

平成24年度の試験研究を紹介します	1
●特集『平成24年研究成果発表会』パートII	
・凍結した原木の強度選別	4
・木・アルミ複合サッシの遮炎性能付与方法の検討	5
・シラカンバを用いた内装材の開発	6
・内装材の使用実態とニーズについて	7
・木質チップ熱処理物の機能と農業利用での有効性 ーバイオガスプラント消化液のアンモニア揮散抑制ー	9
・混練型WPC（木材－プラスチック複合成形体） の高木質化への取り組み	10
・長期荷重試験による集成材の将来的な変形予測	11
・長期間使用した集成材の性能試験結果	12
・トドマツ大径材の水食い選別	13
Q&A先月の技術相談から 〔ラクヨウキノコの種菌を購入したいのですが?〕	14
行政の窓 〔平成24年度北海道木材需給見通しについて〕	15
林産試ニュース	16



木製壁面レリーフ「放輪」 制作者 中野英満
林業試験場(美唄市)

この木製壁面レリーフは、実験研修棟の講堂入り口に設置されています。様々な樹種を組み合わせで作られており、荒々しい仕上げと大胆な造形から躍動感が伝わってくる作品となっています。